

平成24年度教育事業「学校長期自然体験活動指導者養成研修」(文部科学省委託事業)

〈期 日〉 平成24年 8月28日(火)～30日(木) 【参加者：15名】 満足度：100%
 平成25年 1月12日(土)～14日(月・祝) 【参加者：57名】 満足度：100%

☆ 本研修会は、小学校の1週間程度の長期宿泊自然教室を企画・運営する『全体指導者』を養成する研修会です。
 プログラムの企画立案や、ダッチオープンでの野外炊飯、野外に出て行う救助活動や手当てなど、一歩進んだ実践研修です。

〈研修の内容〉

講義	演習	実習
○学校教育における体験活動の意義 ○教育課程と体験活動の関連性 ○野外活動中の完全管理について	○活動プログラムの企画立案 ○体験活動の指導法 徳地アドベンチャープログラム	○自然体験活動の技術 テント設営：8月、コンパスワーク：1月 ダッチオープン料理 ○野外活動中の救急実技 テーピング実習・三角巾法・心肺蘇生実習 負傷者の搬送 など

講師
 山口県キャンプ協会 高田 和宜 氏 九州女子大学 大島 まな 氏 山口県教育庁社会教育・文化財課 山本 豊三 氏
 宇部市立鶴ノ島小学校 赤田 博夫 氏 山口市立小郡中学校 上田 勝彦 氏 深坂自然の家 森の家下関 井上 桂 氏

○ 講義の様子



《参加者の声》
 ・とても学べたと同時に、楽しかったです。もっともっと勉強せねばと思いました。
 ・指導者として大切にすることをしっかりと意識して現場で行動したい。

○ テント設営(8月)・コンパスワーク(1月)



・普段使っていても、新たな学びがあった。
 ・思ったよりも難しく、指導するときには、対象に合わせて工夫しないとイケないと感じた。

○ ダッチオープン料理



・はじめてダッチオープンを使った。と〜ってもおいしかった！
 ・安全について、子どもたち自身に気づかせることが大切だと思った。

○ 活動プログラムの企画・立案



・企画を考えるのは難しい！！
 …けど、グループのみんなとあれこれ考えることが楽しかった。やっぱり仲間がいることって、大切なんだな〜と思いました。

○ 野外での救急法



・室内で行う実習と違い、外でやるとより臨場感が出て難しいと感じた。
 ・初めて教えてもらうことばかりや、やることばかりで、とても勉強になった！